

なかの
中野
としかつ
敏勝 議員

自転車などの放置防止条例の設置について

札内の駅周辺にある駐輪場には利用されていないと思われる、自転車が何十台も放置されている。ホコリまみれになっているものや長い間使われていないためにサドルがないもの、タイヤの空気が抜けているものなどがところ狭しと置かれている。町として、持ち主に対して確認調査を行うか、排除できる方策が必要と考える。自宅に持ち帰ってもらう方策や、取りに来ない自転車は処分できるための、自転車などの放置防止条例の設置が必要と考え、町の見解を伺う。

町長 平日の日に利用状況を調査したところ、タイヤがパンクしたもの、サドルがないものなど約30台あり、放置されている可能性が高いと思われる。

今後、放置自転車の実態把握に努めるとともに、利用者に自転車を放置しないように呼びかけることを、広報誌や駐輪場内に注意看板を通じて啓蒙していきたい。

また、放置処置対策として、自転車等の放置防止条例の制定市町村の先進事例を研究し、対応を検討していきたい。

町長 平日の日に利用状況を調査したところ、タイヤがパンクしたもの、サドルがないものなど約30台あり、放置されている可能性が高いと思われる。

札幌駅周辺の駐輪場は、通学、通勤、通院などで利用者が多く、利用者の不便がないよう、また、景観や美観の保持にも配慮が必要と考えている。



札幌駅の駐輪場

歯科健口対策について

歯の平均寿命は最も短命な歯で五十歳、長持ちする歯でも七十歳で抜けてしまう、歯の長寿は人の長寿に見合うだけの長さは保てないのが現状あり、歯の喪失は虫歯と歯周疾患にある、予防対策が最重要課題となっている。歯科健口が不可欠であり、幼児から児童、大人までフッ素洗口が進められている。町の取り組みについて伺う。

- ①フッ素の効果、意識と取り組みについて
- ②小学入学時、中学進学時の虫歯の罹患率状況について
- ③学校などでのフッ素洗口への取り組みについて

町長 ①フッ素は歯を修復する効果、弗素自身が虫歯菌に対して抗菌力を持つ効果があると言われており、重要性を理解している。「幕別町フッ素の日」などの各種事業において、フッ素効果の啓蒙やフッ素塗布を実施している。



教育長 ②平成22年度の小学校入学時の虫歯罹患率は、47・6%で、一人平均の虫歯の本数は、2・34本である。中学進学時の罹患率は、72・9%で、一人平均の虫歯の本数は、2・94本である。

③道条例により弗素物洗口の普及、その他の効果的な歯科保健対策に必要な措置を講ずるものと定められており、本町は平成24年度普及事業の対象町村となっている。実施に向けて、基本知識や安全性等について、保護者及び関係者の導入意識の醸成を図っていきたい。